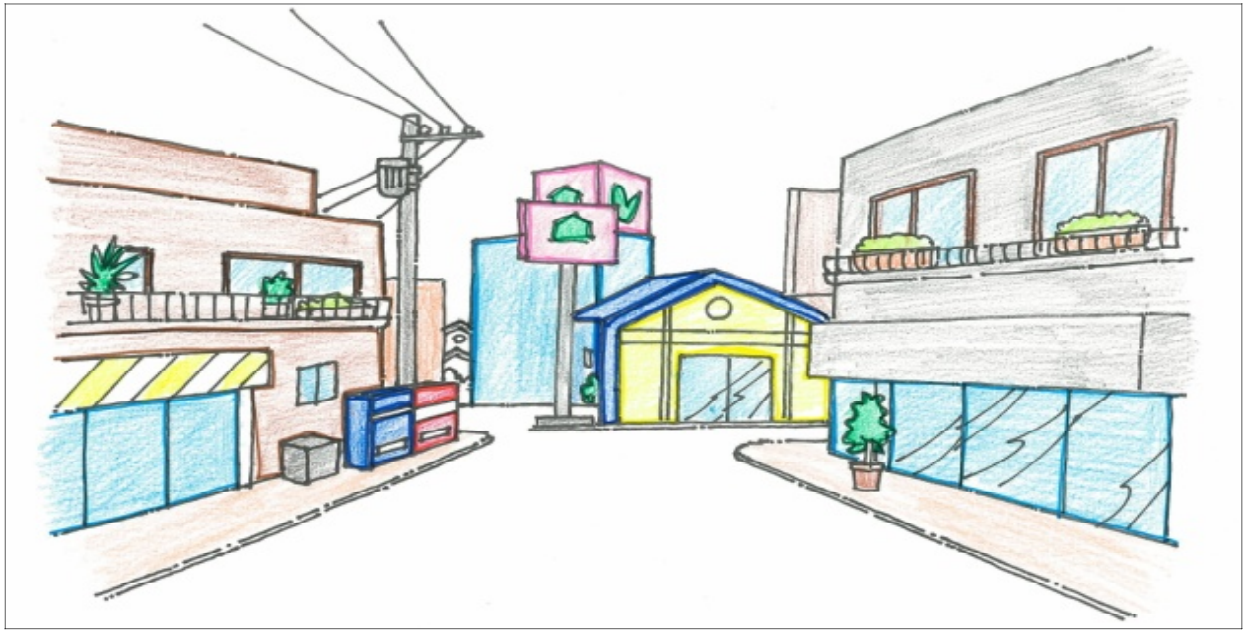


### (3) 災害安全

#### 災害安全K Y T 資料①「商店街での地震発生」ワークシート実践例



① ここはどのような場所で、周りの建物等の様子はどんな様子ですか。

- ・ 大小の店が建ち並ぶ商店街。
- ・ 建物の通りに面した部分はガラスが多い。
- ・ 建物の2階のベランダにプランター等がある。

あなたが、下校中この道を歩いているときに、突然、強い地震が発生しました。

② このとき、どのような危険が考えられますか。

- ・ 電柱や建物等が倒れてくる。
- ・ 自動販売機や植木鉢等が倒れてくる。
- ・ 窓ガラスやプランター、看板等が落下してくる。

③ あなたは、揺れが収まるまで、どのように行動しますか。

- ・ カバンなどを持っていれば、それで頭を守り、できる限り低い体勢を保つ。
- ・ できる限り建物や自動販売機等から離れ、上から物が落ちてきたり、倒れてきたりしない位置で揺れが収まるのを待つ。

④ 下校中、商店街等で地震にあった場合、どのように行動するか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・ 頭を守り、低い姿勢をとります。
- ・ できる限り建物等から離れ、しゃがみます。
- ・ あわてないで、落ち着いて行動します。

#### 【指導のポイント等】

- 商店街やオフィス街にいるとき地震が発生した場合には、看板や窓ガラス、自動販売機や店頭の植木鉢等の落下物や倒壊物等に注意をする。
- 外で地震に遭遇した場合は、揺れが収まるまで頭部を守り、できる限り低い体勢を保つ。

※ 資料②も併せて行くと効果的

## 災害安全KYT資料②「地震発生後の避難」ワークシート実践例



下校中、強い地震が発生しました。今、揺れは収まっています。幸いけがはありません。

### ① このとき、どのような危険が考えられますか。

- ・余震があり、さらに建物が壊れる。
- ・家の屋根や窓ガラス、石垣の石や塀のブロックなどが落ちてくる。
- ・切れて道路に垂れ下がった電線に触れて感電する。

### ② この後、あなたは、どのように行動をしますか。

- ・安全な場所へ避難する。
- ・あらかじめ決めていた場所に避難する。
- ・学校に近い場合は、学校に避難する。

### ③ そのとき、どのようなことに気を付けますか。

- ・上から物が落ちてくるかもしれないので、頭を保護しながら素早く避難する。
- ・道路に落ちている物に気を付けながら歩く。
- ・できる限り建物から離れたところを歩く。

### ④ 安全に避難するためにどのようなことに気を付けますか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・余震によって倒れたり落ちたりするものに気を付けながら避難します。
- ・周りの人に声をかけながら避難します。

#### 【指導のポイント等】

- 割れた窓ガラス、切れた電線、壊れたブロック塀等の危険物に十分気を付ける。
- 通学路付近の避難場所は事前に確認しておく。
- 自分にとって都合の悪い情報を無視したり過小評価したりしてしまう人間の心理的特性「正常化の偏見(バイアス)」を克服し、余震や津波の発生も想定して、率先避難者となるよう努める。

## 災害安全KYT資料③「海岸での地震発生」ワークシート実践例



あなたが、海岸で遊んでいたら、突然強い地震が発生しました。

① あなたは、揺れが収まるまで、どのように行動しますか。

- ・できる限り低い体勢になり、転ばないようにする。
- ・防波堤から離れて、揺れが収まるのを待つ。

② 強い揺れが収まった後にはどのような危険が考えられますか。

- ・津波の発生
- ・余震の発生

③ 強い揺れが収まったら、あなたはどう行動しますか。

- ・余震に気をつけながら急いで高台に避難する。
- ・自分だけは大丈夫と考えず、情報を待たずに、率先して避難する。
- ・自動車に避難する人もいますので、自動車に気を付けて避難する。

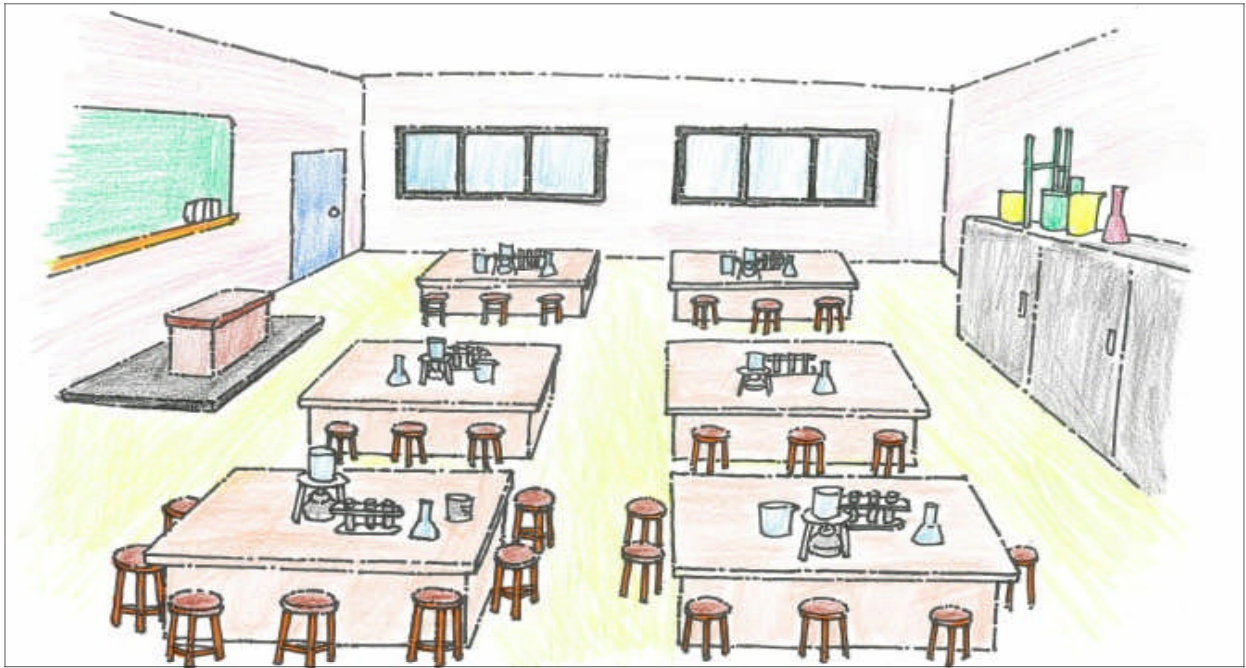
④ 海岸で地震にあつたらどのように行動しますか。グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・低い体勢で揺れが収まるのを待ち、揺れが収まったら急いで高台に避難します。
- ・揺れが収まったら、家族で決めていた避難場所に避難します。
- ・避難するときに、けがをしないよう気を付けて避難します。

### 【指導のポイント等】

- 沿岸部に住んでいる人は、津波想定の高台の避難場所を家族で決めておく。
- 自分にとって都合の悪い情報を無視したり過小評価したりしてしまう人間の心理的特性「正常化の偏見(バイアス)」を克服し、余震や津波の発生を想定して、率先避難者となるよう努める。
- 高台に避難した後は、津波がこなくてもすぐに自分で判断せず、役所等の指示等、正確な情報を得てから次の行動に移る。

## 災害安全KYT資料④「理科室での地震発生」ワークシート実践例



あなたたちがこの教室で学習を始めて、アルコールランプに火をつけて実験をしているときに、突然強い地震が発生しました。

### ① このとき、どのような危険が考えられますか。

- ・アルコールランプが落ちて、こぼれたアルコールに引火する。
- ・ビーカーが落ちて割れ、熱湯がこぼれる。
- ・机の上や棚に置いている実験器具が倒れたり、落ちたりして割れる。

### ② あなたは、揺れが収まるまで、どのように行動しますか

- ・できる限り火気や実験器具・戸棚等から離れ、しゃがんで揺れが収まるのを待つ。  
(火傷等をするのが考えられるので、まずは、自分の身を守ることを考える)
- ・できる限り広いスペースにしゃがんで、揺れが収まるのを待つ。

### ③ 揺れが収まったら先生の指示に従い避難しますが、どのようなことに気を付けますか。

- ・自分勝手な行動をしない。
- ・「お(おさない)、は(はしらない)、し(しゃべらない)、も(もどらない)」に気を付ける。
- ・ガラスの破片等に気を付ける。

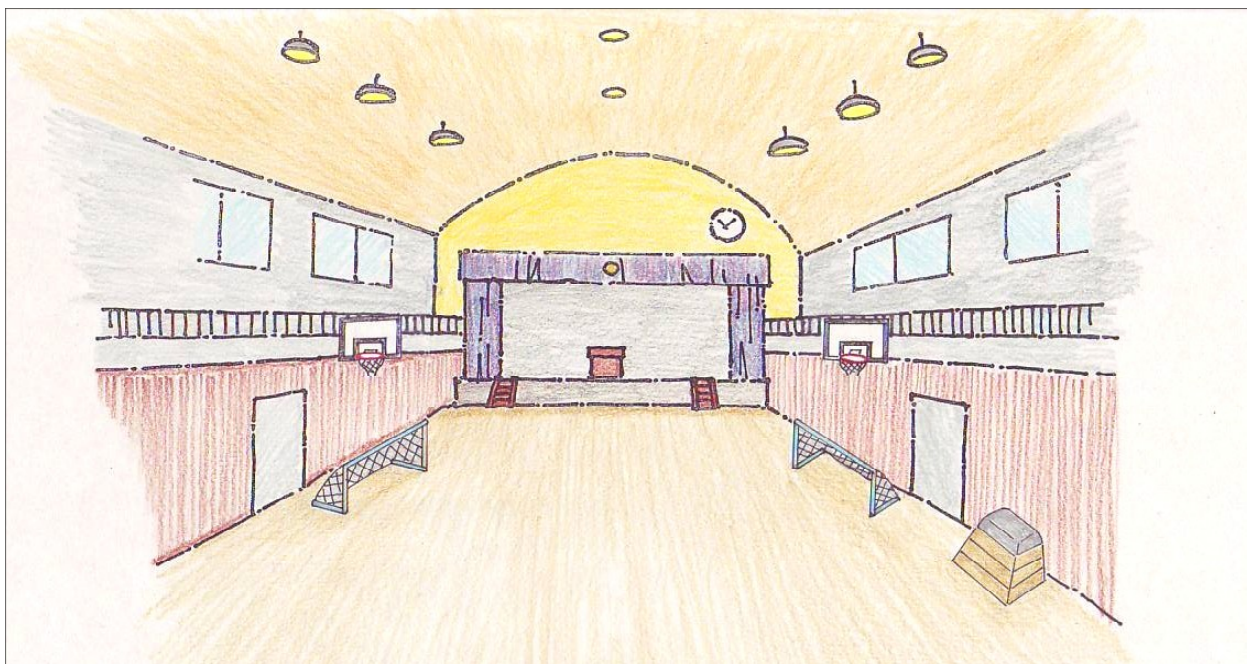
### ④ 実験・実習中に地震にあった場合、どのようなことに気を付けますか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・落ち着いて、まずは自分の身を守ります。
- ・先生の指示に従います。
- ・なるべく机から離れて揺れが収まるのを待ちます。

### 【指導のポイント等】

- 理科室や家庭科室など、特別教室等で火気や薬品の使用中に地震が発生した場合、無理に火を消そうとせず、なるべく火や薬品から離れた場所で揺れが収まるのを待つ。
- 避難の際は、指示をよく聞き、落ち着いて静かに行動する。

## 災害安全KYT資料⑤「体育館での地震発生」ワークシート実践例



あなたたちがここで学習を始めたときに、突然強い地震が発生しました。

① このとき、どのような危険が考えられますか。

- ・天井の照明器具や壁に掛けてある時計が落ちてくる。
- ・2階の窓ガラスが割れて落ちてくる。
- ・バスケットゴールが落ちたり、置いてある体育用具が倒れたりする。

② あなたは、揺れが収まるまでどのように行動をしますか。

- ・体育用具から離れて体育館中央部に集まる。
- ・上からの落下物に気を付け、体勢を低くして転ばないようにする。
- ・先生の指示に従い、自分勝手な行動をしない。

③ 揺れが収まったら先生の指示に従い避難しますが、どのようなことに気を付けますか。

- ・自分勝手な行動をしない。
- ・「お（おさない）、は（はしらない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」に気を付ける。
- ・ガラスの破片等に気を付ける。

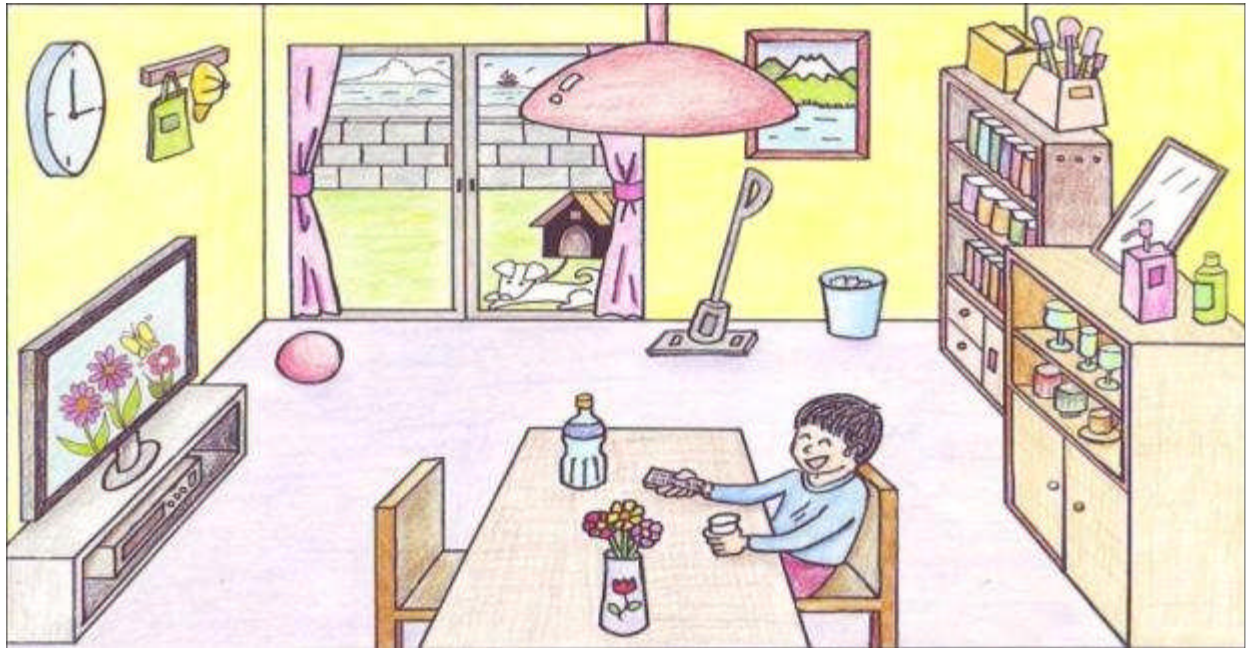
④ 体育館で地震にあった場合、どのようなことに気を付けますか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・低い姿勢を保ち、揺れが収まるのを待ちます。
- ・落ち着いて、先生の指示に従います。

### 【指導のポイント等】

- 体育館等で地震が発生した場合、体育用具等の重量物からできるだけ離れるとともに、頭上に照明器具等の落下物が無い場所へ移動し、体勢を低くして揺れが収まるのを待つ。
- 避難の際は、先生の指示をよく聞き、落ち着いて静かに行動する。

## 災害安全KYT資料⑥「家庭での地震発生」ワークシート実践例



この部屋で、テレビを見ているときに、突然強い地震が発生しました。

① 地震が起きたとき、この部屋ではどのような危険が考えられますか。

- ・棚が転倒して、上や中に置いてある物が落ちてくる。
- ・テレビが転倒して壊れる。
- ・上の照明器具や、壁に掛けてある時計や額が落ちてくる。

② あなたは、揺れが収まるまで、どのように行動しますか。

- ・テーブルの下に入り、身を守る。
- ・クッション等が近くにあれば、頭を保護する。

③ ①で見つけた危険から身を守るための備えとしてできることはなんですか

- ・棚や本箱の上に、落ちたとき危険な物を置かない。
- ・棚や本箱、テレビを転倒防止金具等で固定する。
- ・照明器具を落下防止の補助金具等で補強する。

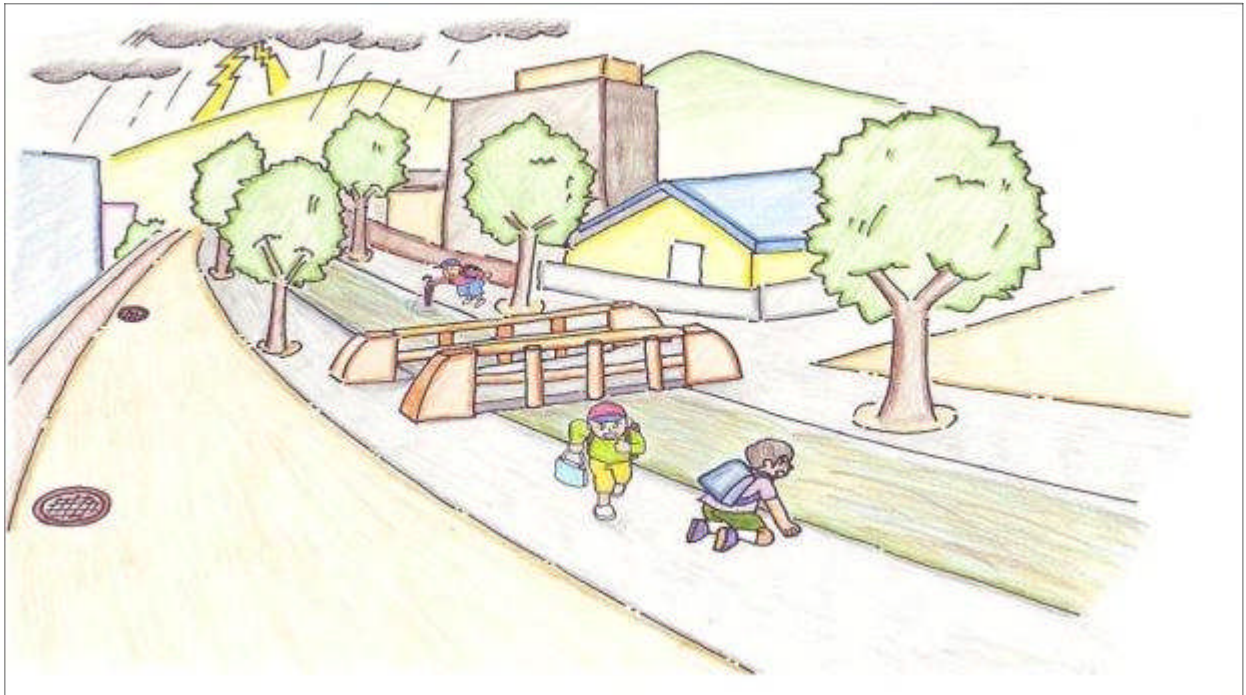
④ 強い揺れが収まったら、あなたはどのようにしますか。

- ・家が海に近いところがあるので、急いで近くの高台に避難する。
- ・ラジオがあればそれを持って、情報を聞きながら避難する。
- ・割れたガラスなどに気を付けながら避難する。

### 【指導のポイント等】

- 在宅時に地震が発生した場合、学校の避難訓練と同じように、まずはテーブル等の下にもぐって頭部を保護し、自分の命を守る。
- 沿岸部に家がある場合は、津波を想定した避難場所について家族で決めておく。
- 家具の固定や配置等、減災の視点で家庭の中を確認し、家庭でも話し合う。

## 災害安全KYT資料⑦「用水路の増水」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・用水路のそばで下校中の小学生が遊んでいる。
- ・用水路は増水していて、勢いよく水が流れている。
- ・用水路の上流では、雨が降っている。

② 用水路の近くの子どもには、どのような危険が考えられますか。

- ・用水路をのぞき込んでいると、ちょっとした拍子で用水路に落ちて流される。
- ・用水路をのぞいていると、ランドセルがずれてそのはずみで用水路に落ちる。
- ・傘で遊んでいるとき、水の勢いで傘が流されそれを離さずに用水路に落ちる。

③ 危険を避けるためには、どのようにしたらよいですか。

- ・水かさが増え、流れが速くなっている用水路等で遊ばない。
- ・用水路等がいつもと違う状況であっても、近づいてのぞき込まない。
- ・上流で雨が降っている場合、さらに水かさが増えるので、川や用水路に近づかない。

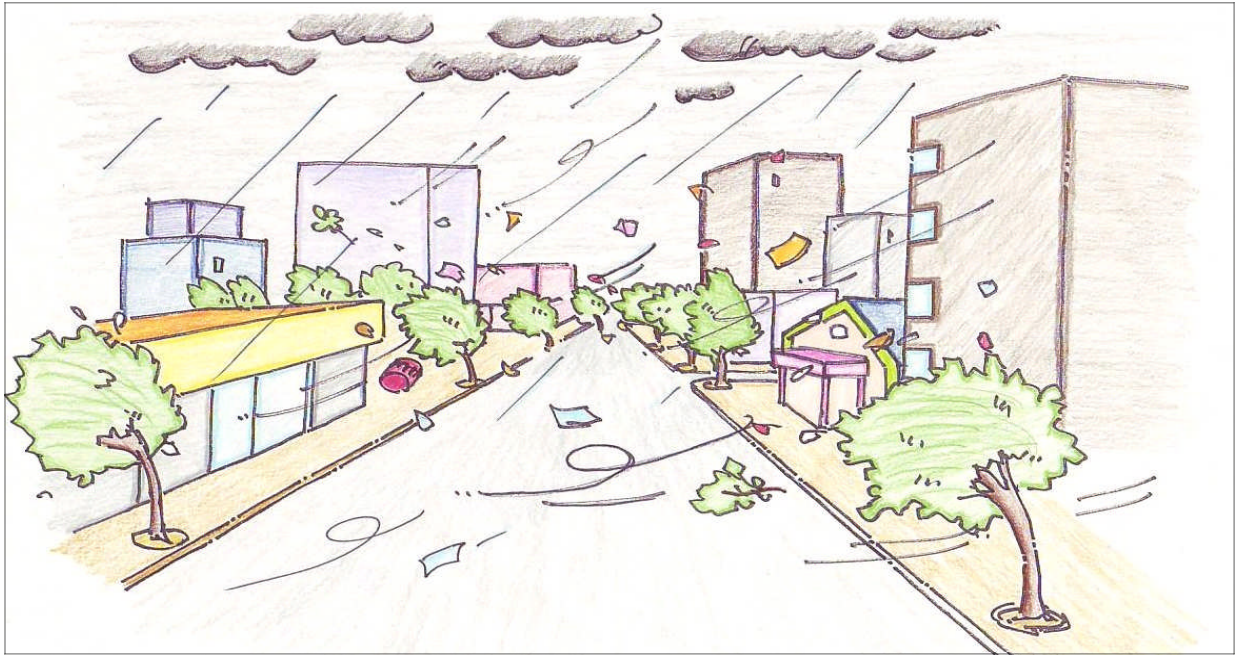
④ 増水した用水路や河川ではどのようなことに気を付けますか。グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・増水した用水路は流れも速く、危険なので近づきません。
- ・雨が降っているときに用水路のそばを通るときは、できるだけ離れて通ります。
- ・下校時は遊ばずにさっさと帰ります。

### 【指導のポイント等】

- 増水した用水路や河川等には近づかない。
- 通学路等身近にある危険な用水路や河川等について、あらかじめ知っておく。
- 河川の水位の上昇は降雨後しばらく続くことや、上流での降雨により、思いがけなく、水位が高くなることから雨天時以外にも注意が必要である。

## 災害安全KYT資料⑧「台風の接近」ワークシート実践例



① このイラストはどのような場面ですか。

- ・ すごく強い風が吹いて、雨も降っている。
- ・ いろいろなものが飛ばされ、街路樹の枝も折れている。
- ・ 台風みたい。

② このとき、外にいたらどんな危険が考えられますか。

- ・ 強風にあおられて転倒する。
- ・ 強風で看板や街路樹の枝等が飛ばされ、それに当たる。
- ・ 風にあおられて車道に出て、車にぶつかる。

③ ②の危険から身を守るため、どのようなことに気を付けますか。

- ・ 強風であおられて転倒する恐れがあるので、傘はささない。
- ・ 危険を感じたら近くの建物の中に避難する。
- ・ 暴風雨で危険が予測される場合、外出は控える。

④ 台風等、暴風雨から身を守るためにどのようなことに気を付けますか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

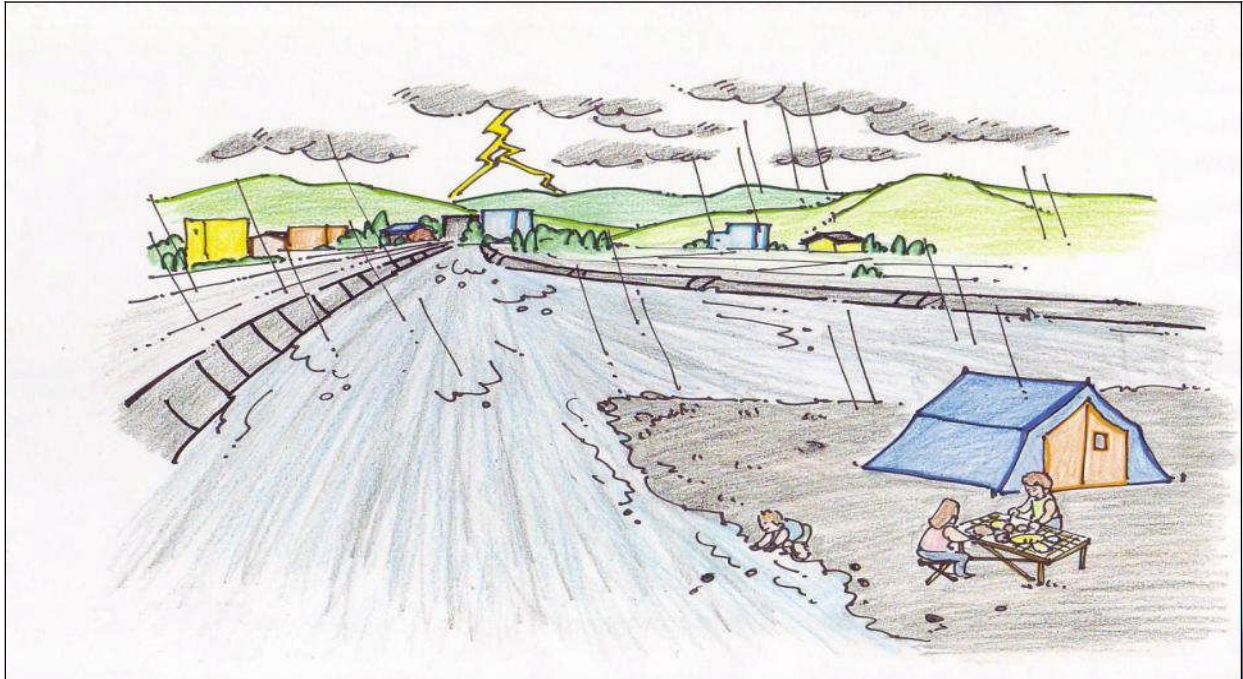
- ・ 台風の時には、外に出ません。
- ・ 台風の時には、天気予報で今後の状況を確認します。
- ・ 外出しているときに、天気が急変したら、早めに帰宅するか、近くの建物に避難します。

### 【指導のポイント等】

- 台風の接近は天気予報である程度予測できるので、外出は控える。
- もし、外出していたときは早めに帰宅して強風等に備える。
- 高いビルが多いところは、風の向きが変則的になるので十分注意する。
- 暴風雨時は車等の視界も悪いため、交差点や道路の横断時には特に注意する。



## 災害安全KYT資料⑨「川でキャンプ中に上流で豪雨」ワークシート実践例



① このイラストは、どのような場面ですか。

- ・家族が川の中州でキャンプをしている。
- ・川の上流の空に真っ黒い雲が出て、雷が鳴り、雨が降ってきた。
- ・近くで雨が降っているのにバーベキューや川遊びを続けている。

② キャンプをしている家族には、どのような危険が考えられますか。

- ・川の水が増え、中州に取り残されたり、流されたりする。
- ・一気に水かさが増え、子どもが流される。
- ・雷が落ちる。

③ 危険を避けるためには、どのようにしたらよいですか。

- ・川の中州にはテントを張らず、バーベキュー等も安全な場所で行う。
- ・川に行くときは、天気予報を確認し、川の上流に突然強い雨が降らないか確認する。
- ・遠くで雷が鳴ったら、早めに切り上げて安全な場所に避難する。

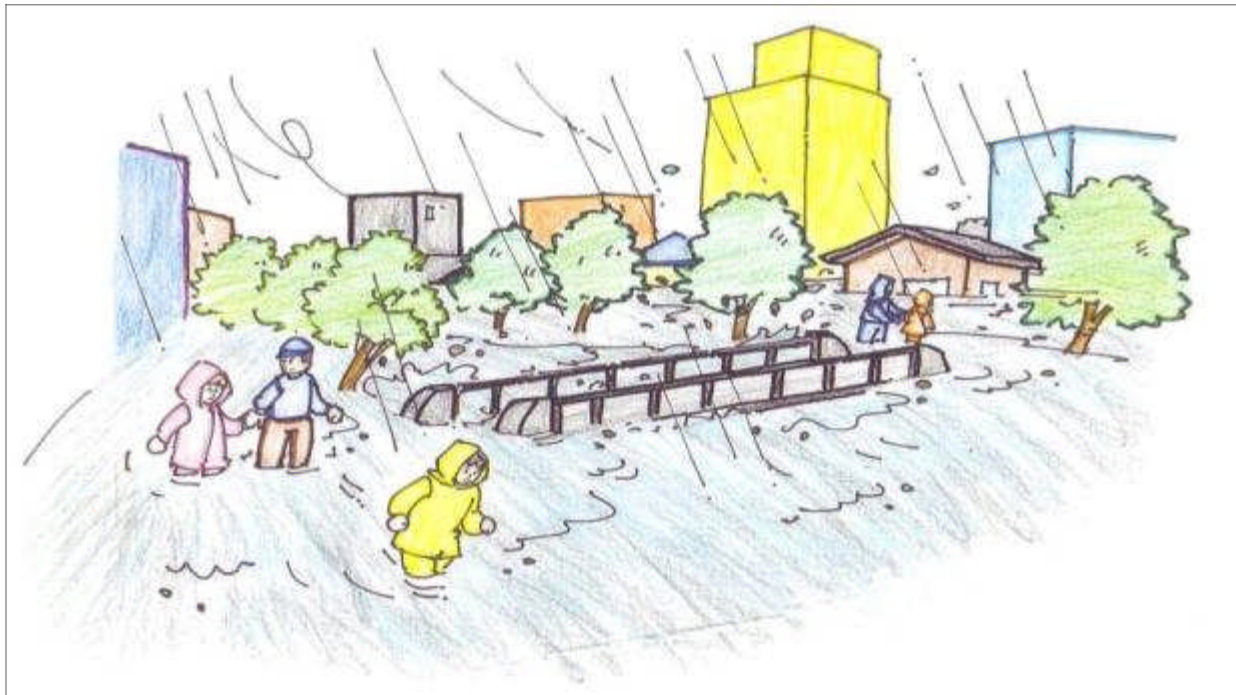
④ 川遊びやキャンプをするときには、どのようなことに気を付けますか、グループで話し合い、短い言葉でまとめましょう。

- ・川でキャンプをするときは、天気予報で天気を確認します。
- ・川の中州にはテントを張りません。
- ・川遊びをしているとき、上流の空が暗くなったら早めに安全な場所に行きます。

### 【指導のポイント等】

- 河川や用水路は、上流で雨が降ると一気に水の量と勢が増すので、上流域に黒い雲が見えたり、雨が降ってきたりしたらすぐに川から離れる。
- 河川の中州などは、増水で取り残されることがあるので、十分注意するとともに、場所によっては近づかない。

## 災害安全K Y T資料⑩「大雨による河川の氾濫」ワークシート実践例



① このイラストは、どのような場面ですか。

- ・大雨で川が氾濫した中を人が避難している。
- ・川の氾濫で、道路が冠水し、川と道路の境目がわからない。
- ・雨がすごい勢いで降っている。

② 歩いている人々には、どのような危険が考えられますか。

- ・川と道路の境目が分からずに、川に落ちてしまう。
- ・水の流れに足をとられ、流される。マンホール等に落ちる。
- ・上流から流れてきた物にぶつかって転倒する。

③ 危険を避けるためにどのようにしたらよいですか。

- ・川の氾濫等で道路が冠水しているときは、絶対に外に出ない。
- ・天気予報等で、大雨に注意し、危険なときは外出を控える。
- ・河川が氾濫する前に避難勧告等が出たら、早めに避難しておく。

④ 洪水から身を守るためにどのようなことに気をつけますか、話し合しましょう。

- ・台風や集中豪雨等で避難勧告等が出たら、早めに避難します。
- ・川の水があふれたときなど様子を見に行きません。
- ・危険な状況の時には外出しません。

### 【指導のポイント等】

- 集中豪雨等により、河川の氾濫の危険性が高まることもある。その場合は絶対に外出しない。
- 流水中では、水位が膝丈程度でも自由に動くことはできず、流されることもあり非常に危険である。
- 泥水等で地面が見えない場合、水圧で蓋の外れたマンホールなどが非常に危険である。
- 避難勧告等が出た場合には、安全なルートを通して早めに避難する。